

DIGITABLE 夏合宿勉強会レポート

2017年12月16日 於：江東区亀戸文化センター 美術室



亀戸文化センター 美術室の石膏像を使っての撮影実習

デジタルフォト基礎講座 12月 (特別編)

2017 撮影技術講座③「静物や商品の撮影」：高木大輔講師

DIGITABLE 写真技術研究会 (HOME) <http://www.digitable.info>

2017 撮影技術講座③「静物や商品の撮影」

：高木大輔講師

今月はまず自然光での静物や商品の撮影、それに特殊撮影テクニックとしてカメラの新機能を利用した微速度撮影を見ていきます…

■窓際での静物撮影

商品撮影というと、=さまざまな照明器具を使ったライティングテクニックと思われがちですが、自然光での撮影も可能です。プロの光を意識して積極的に使うには、この撮影ステージそのものをよい光線が得られるよう回してセッティングする方法があります。舞台や通常のスタジオではステージの向きが決まっていますので、ライティングの方を移動することになりますが、自然光スタジオではメインライトが動かさませんから、商品や撮影ステージそのものをよい光線が得られるよう、動かすわけです。これはとても単純なことなのですが、多くの人は気付きません…

■ビールグラスの商品イメージ撮影

さて、自然光での静物撮影の基本が分かったところで、ちょっといきなりですが、自然光でのイメージ撮影、しかもビールのイメージ撮影です。自然光の逆光を利用してなかなかいい感じの作品が撮れました…

■楽器のイメージ撮影

これまでは自然光で、自然な視線、いわばアイレベルでの撮影を見てきましたが、今度はアングルを変えてみましょう。思い切ってハイアングルで、楽器のイメージ撮影をやってみることにします。このような金管楽器は写りこみの発生する代表格で、とても難しいものです。通常の撮影ではこの写り込みを防いだり、また楽器を引き締めるための黒の写しこみをしたり、とても大掛かりなものになりますが、簡単にうつりこみが防げる、デフューズBOXの大型のものを使用してみます。このようにコンパクトにたたまれて収納されていますが、このように広げて、こんな大きさになります。こちらのシートにはスリットがあって、この切れ目からカメラのレンズを入れるわけです。うつりこみがほとんど消えて全体にフラットになりました…

(※この後、午後インテリアスタジオでのモデル撮影会を行った)



DIGITABLE 写真技術勉強会 不許複製 (C) Digitable.info, 20171206 All Rights Reserved
